

令和7年度第三セクター経営評価結果及び対応について

職業訓練法人青森情報処理開発財団

1 令和7年度 経営評価

評価項目	目的適合性	効率性・効果性	組織運営の健全性	財務の健全性	透明性	自立性
第一次評価 (法人)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	改良の余地あり	概ね良好	概ね良好
第二次評価 (所管部局)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	改良の余地あり	概ね良好	概ね良好
第三次評価 (評価委員会)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	改良の余地あり	概ね良好	概ね良好

【改善の余地ありの理由（第一次評価・第二次評価・第三次評価）】

財務の健全性：大雪による除排雪費の増加等により2,128千円の赤字となっているため。

【青森市第三セクター経営評価委員会による意見等】

総括的な所見：○ウェブサイトやYouTubeを活用してPRを行い、幅広い世代を視野に入れながら入学生を募集すること
で、定員充足数を確保していることは評価できる。
○財政基盤の中心である学生募集に向けて、積極的な広報活動や、地域に即した時代に適合したカリ
キュラムによる職業訓練を実施することで、入学生を確保し、授業料収入を増加させるなどの自主財
源の確保に向けた取組の強化が不可欠であるとともに、法人運営に必要な資金運用規定や債権管理規
程が整備されることを期待する。
○「改善の余地あり」と評価された項目については、速やかに改革・改善に取り組むとともに、「概ね
良好」と評価された項目についても維持・向上に取り組む、更なる成長・発展に努めることを期待す
る。

※参考 令和6年度決算

- 当期損益 ▲2,128千円 累計損益 438,467千円
- 当市からの収入 352千円（経常収益に占める割合 R6：0.27%←R5：0.30%）
うち競争によらないもの352千円（経常収益に占める割合 R6：0.27%←R5：0.30%）

2 第三セクターの対応

◆経営戦略プラン(R5～R7)の取組と計画

「地域の高度情報化に貢献する人材の育成」という使命を継続的に果たすためには、安定的な財政基盤（入学生の確
保）の構築が不可欠という経営戦略方針に基づき下記取組を実施。

○具体的取組

- ①esportsクリエイト専攻のPRや高校訪問体制の拡充など効果的な学生募集策の実施
- ②地域で求められているチャレンジマインドに溢れるICT人材の育成
- ③社会で即戦力となる人材の育成と就職指導・支援の強化による就職率の維持向上
- ④自主財源の確保や経費の抑制等による財政基盤の改善・強化
- ⑤情報の有効活用や管理の厳格化等による業務運営の効率化・健全化

○財務計画：毎年度の黒字が目標

(R5：5,797千円、R6：473千円、R7：1,215千円)

【取組状況】

令和6年度決算においては、大雪の影響により除排雪経費が増大したことから、当期損益は▲2,128千円となったもの
の、累計損益は438,467千円を確保しており、財務基盤の安定性は維持されている。

入学生の定員確保に向けて、令和7年度はこれまでの施策に加え、専門業者のDMを活用した高校生へのPRや、卒業
生ネットワーク（約2,600名）を活用したPR、AIやWebデザイン系授業の強化を行い、魅力の向上とPRの強化に努めてい
る。

今後においても、継続した財務基盤の安定を図るため、入学生の安定的な確保に向けて、市と連携しながら広域かつ
幅広い層への認知度向上に向けた取組を展開するとともに、収支改善と単年度収支の黒字化を目指す。あわせて、持続
可能な法人運営の確立に向け、次期経営戦略プランにおいて、必要な施策を整理し、計画的に取り組んでいく。

3 市の対応

あおもりコンピュータカレッジにおいて、これまで広報活動の工夫や地域ニーズを踏まえた教育内容の充実により、
学生確保に向けた取組が着実に進められている点を評価している。

今後、同カレッジが学生募集を中核とした財政基盤の強化や、資産運用規程・債権管理規程の整備等による法人運営
の基盤強化を進めるに当たり、市として必要な助言や情報提供を行うとともに、令和8年3月策定予定の経営戦略プラ
ンにこれらの取組が適切に整理されるよう意見を伝えるとともに、同カレッジが安定的かつ持続的に運営されるよう、
引き続き指導等を行っていく。